



中学3年生の時の私は、その年の正月、手あたり次第神社にお参りに行き、お守りを買ってあさっていました。高校受験を控え、最後は神頼みというほどの切実感があったわけではありませんでしたが、初詣の時にお守りを買ったことでどこかのスイッチが入ってしまい、飢肥の八幡神社を皮切りに、稲荷神社や榎原神社、鶴戸神宮など合わせて10個以上のお守りを買ったような気がします。神様もこんなに誰彼構わず頼みごとをするような人の願いは聞く気にもならなかったことでしょう。

それから3年の月日が経ち、高校3年生となった私はお守りを買うどころか、初詣にもいきませんでした。何事も自分次第、自分が頑張れば合格するし、手を抜いてしまえば不合格、ただそれだけのこと。合格したのであれば自分の成果、不合格であれば自分の報い、そのように考えていました。

結果として私は現役での受験に失敗し、浪人することとなりました。勉強の手応えは感じていたし、あと1年頑張ればかなり成績を上げられる予感がありました。どこまで上げられるか、それも自分次第、自分の責任。

2度目の共通一次試験（2世代前の共通テスト）は、大失敗した科目があり、目標点には届かなかったのですが、それも自分の責任だと受け止め、個別試験に臨みました。

合格発表の日、当時はインターネットなどがあるはずもなく、直接大学の掲示板に見に行くか、電報を依頼するかというのが普通でしたが、私は何もせず数日遅れて届く郵送の通知を待つことにしました。一次試験の得点と個別試験の科目を考えあわせれば落ちることはないと思っていたし、実際合格の通知が届いてもそれほど喜びは感じませんでした。しかし、鮮明に記憶に残っているのは、結果を聞いた祖母が涙を流して喜んでくれたことと、全ては自分の力、責任と言い聞かせてきた自分の浅はかさを思い知り、情けなく思ったことです。自分のことを心配し、声に出さずとも応援してくれている人が身近にいることに目を向けず、全ては自分の力などとおごった考えを持っていた自分はなんてつまらない人間なんだと、つくづく嫌になりました。

さて、進路内定者の多くが自宅学習となる中、今日まで二次特編授業に取り組んだ皆さん、お疲れ様でした。皆さんには応援してくれる人がたくさんいます。保護者の方や先生方や友人達、進路が内定しても最後まで一緒に過ごしてきた友人もいましたね。

いざ勝負の地へ、万感の思いと緑のエクセルバッグを持って、行ってらっしゃい！！

月	日	曜	行事予定（3年に関するもののみ）	朝	夕	備考
2月	22	月	二次特編授業最終日・自宅学習者登校日	×	×	8：15校門通過
	23	火				
	24	水				
	25	木	国公立大学前期試験			
	26	金	国公立大学前期試験・代休日（28日分）			
	27	土				
	28	日	卒業予定者セミナー・同窓会入会式・予行など	×	×	8：15校門通過
3月	1	月	第73回卒業式	×	×	8：15校門通過
	2	火	県立高校一般入試準備・生徒自宅待機			
	3	水	県立高校一般入試・生徒自宅待機			
	4	木	県立高校一般入試・生徒自宅待機			
	5	金	県立高校一般入試・生徒自宅待機			
	6	土				
	7	日				

男子：白靴下
女子：紺靴下

高校入試関連日程時
緊急の用事がある場合は担任に連絡してください